

法人（事業所）理念	<p>法人理念 人が人として人とともに豊かに生きる</p> <p>基本方針 1. わたくし達は人との出会いを大切にします 2. わたくし達は思いやりと謙虚な気持ちを大切にします 3. わたくし達は個人を尊重し心優しい援助に努めます 4. わたくし達は社会福祉に貢献できるよう資質の向上に努めます 5. わたくし達は地域との信頼を深め開かれた施設運営に努めます</p>					
支援方針	<p>放課後等デイサービス（就学児）ねっこでは、お子さま一人ひとりが充実した放課後を過ごし、小人数（3～5人程）での集団生活を通して、個々の発達だけでなく社会生活に必要な力を育むことを目標とします。就学後は新たな生活に期待や楽しみもある半面、大きな環境変化に不安やストレスを抱えているお子さまもいます。そのようなお子さまの”心のよりどころ”になることができればと考えています。そのため、放課後デイサービスでは、児童発達支援（就学前）ねっこを利用されている方に優先的にご利用いただいています（対象児童：小学1年～3年生）。その他、家族支援、地域支援にも力を入れ、お子さま一人ひとりが社会の中で安心、安全に過ごすことができるよう支援を行います。療育内容に関しては、個々の発達段階や障害特性に合わせて個別支援計画を作成し、発達の5領域に対応した支援を行います。</p>					
営業時間	9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 障害特性に配慮し、時間や空間をわかりやすくするために構造化等により環境調整を行います。 毎回ご利用時にその日体調や様子などを確認し、その時のお子さまに合わせた支援を行います。 職員や友だちとのやりとりを楽しめるよう、支援者が援助し安心して過ごせる環境を提供します。 自分の持ち物の管理や遊具・道具の片付けなど、環境調整の準備を自立的に行えるように支援を行います。 スケジュールボード（当日）や配布する予定表（1カ月）を使用し、絵や写真文字など視覚的な情報を使って見通しをわかりやすくして伝えています。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 様々な運動遊びや道具操作を取り入れ、お子さまの運動機能の向上や手指の巧緻性、姿勢の発達を目指します。（タイミングよく動く、力の加減をコントロールする、体幹の形成、目と手指の協応、指先の巧緻性） 集団クラスでは同じ運動遊びでも、お子さま一人ひとりの発達段階（年齢）に応じて難易度を調整します。（簡単すぎず、難しすぎないよう個々のニーズに合わせた課題設定を行います） 個々の感覚特性に応じた活動設定を行います。感覚過敏のあるお子さんには無理強いさせることなく、スモールステップでご本人のペースで意欲を持って取り組んでいただけるよう支援を行います。例）粘土が苦手なお子さんにはまずは道具を使って間接的に触れてみる等 逆に感覚刺激をたくさん取り入れたいお子様（激しい運動やたくさん身体を動かしたい）には、前庭覚や固有受容覚の刺激が豊富な遊びを取り入れています。例）ブランコ、綱引きなど 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援では学校の宿題の他、毎回、発達段階や個人の難易度に応じた教材課題を取り入れています。数の理解、図形、空間認知、プリント学習（読み書き）など様々な概念を理解できるように支援を行います。 活動の終わりには時計を用いて視覚的にわかりやすく終了時間を表示し、自ら時間を意識して行動できるように支援を行います。 集団活動や製作活動などを通して各感覚を刺激し、興味の幅を広げることができるよう支援します。 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友だちが困っている時などに助け合ったり感謝したりする場面を大切に、他者と円滑なコミュニケーションができるように支援します。 自分の要求や手伝ってほしい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動や言葉を適切な場面で発揮できるよう支援します。（言葉で上手く伝えられない場合は写真の使用やジェスチャーを文字化するなどお子さまに応じたコミュニケーション手段を用いて関わります） 始まりと終わりには簡単な挨拶や会話を交わしたり、楽しかったことなどを人前で発表する場面を提供することで話す、聞く力を養います。 				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階や障害特性などに配慮して、スタッフがお子さんに丁寧な関わりを行い、人間関係や社会性の育ちを支援します。 失敗や苦手なことでも、他者と協力すれば達成できること、支援があったらできること、繰り返し挑戦したりすることなど、様々な成功体験を増やすことで自分に自信が持てるよう支援を心がけます。 集団活動を通してルールや順番を守ることや、強調した関わりを持てるように支援します。 				
家族支援	保護者と定期的に面談を行います。お子さまの力（強み）や発達段階などについて一緒に考えさせていただき、本人理解に繋がります。	移行支援		上記の通り、小学1年生～3年生を対象としているため、移行支援を行う機会はありませんが、本人中心支援会議（計画相談）に積極的に参加し、必要に応じてお子さまの事業所での様子や支援方法等、関係機関（小学校、他事業所）に情報を提供しています。		
地域支援・地域連携	お子さまの情報や支援方法の共有など、必要に応じて関係機関（小学校、他事業所等）と連携を図り、地域の中でより安心、安全な生活を実現できるよう支援を行います（インクルージョンの推進）		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 西宮通所支援連絡会が主催する事例検討会や各種研修会（感染・虐待防止等）に定期的に参加しています。 当センターの関係部門（医師、リハビリ、心理等）とも連携を図り、定期的にケースカンファレンスを行っています。 	
主な行事等	プールあそび、遠足 等					